

## 令和4年度 算数科 授業改善推進プラン

大田区立南蒲小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- (低) ・たし算・ひき算の演算決定のキーワード「あわせて」「みんなで」「ちがいは」などの言葉に線を引き、題意を明確にして問題に取り組ませた。
- (中) ・計算や図形の理解が不十分な児童には習熟度別指導や補習教室で個別に対応した。「できた」「分かるようになった」という経験を積ませ基礎・基本の定着をはかった。
- (高) ・基礎・基本の定着が不十分な児童には習熟度別指導や補習教室で個別に対応した。「できた」「分かるようになった」という経験を積ませることができた。

#### (2) 課題

- (低) ・問題文から数量の関係を読み取れずに、正しい立式ができない児童がいる。
  - ・繰り返し上がりのあるたし算、繰り返し下がりのあるひき算が身に付いていない児童が多くいる。
  - ・算数の用語を正しく理解し、使用することができていない。
- (中) ・確実に四則計算を行ったり、量感をイメージして予測して測ったりすることに課題のある児童がいる。
  - ・文章問題、絵や図から立式に必要な情報を読み取り、設問に対する正しい答えが求められないことがある。
  - ・コンパスや分度器を使って、角度を測ったり、図形を正確に描いたりすることができないことがある。
- (高) ・個人差が大きく、基礎・基本が身に付いていない児童がみられる。
  - ・わり算の計算や小数・分数の仕組みやその計算など基本的内容が習熟されていない児童が見られる。
  - ・倍の計算などで演算決定を誤る児童が多い。
  - ・割合を求める計算で、小数で表したり、%で表したりすることが苦手な児童が多い。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全問を対象とする平均正答率が目標値より2.6ポイント高い。全国平均と比較して3ポイント、区平均と比較して3ポイント低い。</li> <li>・領域別では、「図形」、「測定」が目標値に比べて下回っている。</li> </ul>	/	/
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全問を対象とする平均正答率が、全国平均と比較して8ポイント、区平均と比較して7ポイント低い。</li> <li>・領域別では、「変化と関係」、「データの活用」が目標値に比べて下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎の校内平均正答率は80%を超えているが、活用は52%と低い。</li> <li>・図形の領域で54%と正答率が低い。(第4学年時)</li> </ul>	/
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全問を対象とする平均正答率が、全国平均と比較して1.4ポイント、区平均と比較して1.1ポイント低い。</li> <li>・領域別では、「図形」が目標値に比べて大きく下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大田区学習効果測定の結果では、正答率が目標値や区の平均値から6～10ポイント下回っている。</li> <li>・領域別では、「図形」と「データの活用」が目標値に比べて大きく下回っている。(第5学年時)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大田区学習効果測定の結果では、正答率が目標値や区の平均値から4～6ポイント下回っている。</li> <li>・領域別では、「量と測定」と「図形」が区の平均より7ポイント以上下回っている。</li> <li>・観点別では、特に「知識」の正答率が低い。(第4学年時)</li> </ul>

## (2) 分析 (観点別)

### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・知識・技能に関する平均正答率が、全国平均や区平均と比較して3ポイント低い。基本的な知識・技能の定着を図る必要がある。	・平均正答率が、全国平均や区平均と比較して3ポイント低い。	・正答率が、全国平均や区平均と比較して3ポイント低い。

### ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・知識・技能に関する平均正答率が、全国平均や区平均と比較して10ポイント以上低く、基本的な知識・技能の定着が十分でない児童が多い。	・思考・判断・表現に関する平均正答率が、全国平均や区平均と比較して10ポイント以上低い。	・主体的に学習に取り組む態度に関する平均正答率が、全国平均と比較して10ポイント以上低く、算数の学習に意欲・関心をもつことができていない児童が多い。

## 3 授業改善のポイント (観点別)

### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎習熟度別指導を通して、一人一人の実態を把握して個に応じた指導を充実させる。 ・学習した内容を着実に身に付けさせるため、反復練習を積み重ねる。	・式で表されている場面を探して言葉や絵や図を用いて表したり、数量について式に表したりする活動を多く取り入れ、考えを深めさせる。	・算数を学ぶことの楽しさや意義を実感するために、数学的活動を楽しむ機会を設けるようにする。 ・問題提示の仕方を工夫し、どのように問題を解決していくか捉えやすくし、自分が考えたことを表現する機会を増やす。

### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎習熟度別指導を通して、一人一人の実態を把握して個に応じた指導を充実させる。 ・日頃から計算練習を取り入れ、早く正確に計算する力を身に付けさせる。 ・学習した内容が定着するように、タブレットドリルや復習を繰り返し行う。	・言葉、式、図を用いて考えたり、自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの学習活動を積極的に取り入れるようにする。 ・実物を操作したり、自分の体験と結び付けて考えさせたりすることで、量感をイメージして学習させる。	・算数を学ぶことの楽しさや意義を実感するために、数学的活動を楽しむ機会を設けるようにする。 ◎計算や図形の理解が不十分な児童には、スモールステップ学習で個別に対応し、「できた」「分かった」という体験を積み重ねることで、知識の定着を図る。

### (3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎習熟度別指導を通して、一人一人の実態を把握して個に応じた指導を充実させる。 ・タブレットドリルを活用して学習したことが確実に身に付くようにする。	・言葉、式、図を用いて考えたり、自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの学習活動を積極的に取り入れるようにする。	・算数を学ぶことの楽しさや意義を実感するために、数学的活動を楽しむ機会を設けるようにする。 ◎基礎・基本の定着が不十分な児童には、スモールステップで個別に対応し、「できた」「分かるようになった」という経験を積み重ね、算数への意欲・関心を高めていく。